

# 中央区内景気動向調査

令和5年8月調査結果

令和5年9月26日

中央区

## 総 括

### 令和5年8月の動き

中央区内における8月の現状判断D Iは合計で62.8と、前回調査から0.6ポイント上昇している。景気の先行き判断D Iは合計で59.6と、前回調査から0.6ポイント上昇している。

図表 景気の現状判断D I、先行き判断D I（合計）

(D I)	令和5年			前回調査 からの変化
	4月	6月	8月	
合計				
現状判断D I	60.6	62.2	62.8	(0.6)
先行き判断D I	62.8	59.0	59.6	(0.6)

## 目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

## 調査の概要

### 1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した50人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

### 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) (2)の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

### 4 調査月及び調査期間等

調査月は年6回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約1週間で、令和5年8月調査の調査票発送は8月7日（月）、回答期限は8月18日（金）である。

### 5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

### 6 有効回答率

調査客体50名に対し、有効回答客体は47名、有効回答率は94.0%であった。

### 7 DIの算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DIを算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0





### 3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

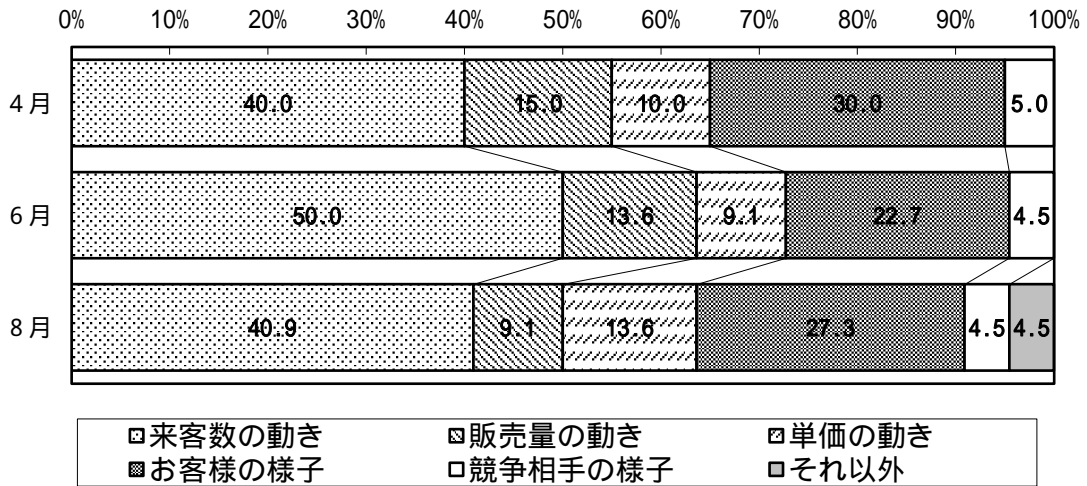
(D I)	令和5年		
	4月	6月	8月
合計	58.3	57.4	55.9
家計動向関連	68.8	62.5	60.2
小売関連	65.9	58.3	64.6
飲食関連	-	-	-
サービス関連	65.0	66.7	66.7
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	50.0	53.0	52.0
製造業	45.0	55.0	50.0
非製造業	51.3	52.5	52.5

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

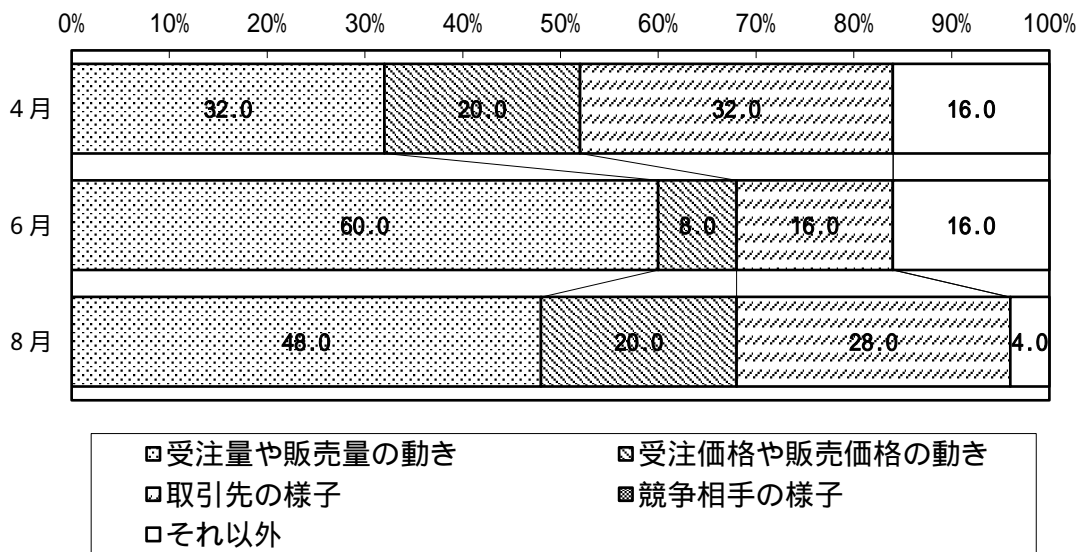
(注)景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

## 4 (1) 景気の現状に対する判断理由着目点

### 家計動向関連



### 企業動向関連



注) 本グラフは景気の現状に対する判断理由着目点の構成比を示している。  
割合が0%の場合、数値は表記していない。



## 4 (2) 景気の現状に対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般小売店〔文具〕(販売担当)	来客数の動き	・インバウンドの増加に伴い、売上、来客数共に好調に推移している。夏休みに入り国内からの客も増加している。
		百貨店(総務担当)	来客数の動き	・当地域への国内外の来街者数が増加している。
		都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・来客数の増加に伴い客単価も上がってきている。
		都市型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・夏休み期間の宿泊、レストラン利用が好調である。
	やや良くなっている	一般小売店〔食品〕(店長)	それ以外	・町会の行事など夏のイベントが再開したお陰で、新型コロナウイルス感染症の発生前までとはいかないが、店売りとは別に注文が入るようになってきている。
		百貨店(広報担当)	お客様の様子	・夏休みの行楽需要や対面機会の増加を受けて、ファッションや食料品を問わず関連需要が稼働している。特に、付加価値の高い商品群の動きは底堅い。
		百貨店(総務担当)	来客数の動き	・直近2か月の来客数は前年比で10%程度増加しているが、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準には戻っていない。
		理容室(経営者)	お客様の様子	・飲食やイベント、旅行等に行った、あるいは行くという話をよく聞く。
	変わらない	一般小売店〔事務用品〕(営業担当)	来客数の動き	・来客数は相変わらず減少したたまたまだが、トータルすると平年とそれほど差はない。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・来客数に変化はないが、買上点数が減少している。
		衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・夏休みに入り、インバウンドは好調を維持し続けている。それに加え、夏祭り、花火大会などのイベントもあり、甚平や浴衣など季節商材への問合せがとても多い。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・法人関係の来客が多い店舗では、夏期休暇により予約数が減少している。物価等の高騰により客単価も下がっている。
		高級レストラン(副店長)	単価の動き	・暑過ぎる影響で来客数は減っているが、客単価は以前と変わっていない。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・3か月前はゴールデンウィーク、今月はお盆休みがあり、どちらも同じように忙しいので、変わらない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・回線契約の見直し等、ユーザーに動きが出てきているが、加速しているというほどではない。
	やや悪くなっている	一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・気候変動の影響で異常な暑さが続いており、日中は外出を控えている人が多く、訪日客も外での行動は非常に困難と思われる。具体的な対策はないが、早く涼しくなることを願っている。
悪くなっている	-	-	-	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	出版業(経営者)	それ以外	・コロナ禍の終えんを受けた解放感や賃上げなどから、消費者の財布のひもは緩みがちで、飲食店の客入りも良い。
		印刷業・製本業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原材料費上昇分の価格転嫁が進んできている。
		印刷業・製本業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・印刷関連業界は、良いところと悪いところの両極端になっているように見受けられる。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の水準に大分戻ってきたが、物価はかなり上昇している。
		通信業(営業担当)	取引先の様子	・最近、本社移転案件が多くなってきている。テレワークと会社勤務とを組み合わせたハイブリッドな働き方で事務所内を快適にする企業が増えていると肌で感じている。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・自社商材もやむを得ず値上げを行うが、現時点では消費行動の減少につながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・オフィスのリーシングは堅調で、空室率も改善傾向にある。既存テナントとの契約更新時には、坪単価増額での更新、再契約ができています。分譲マンションは高単価で順調に販売できている。商業施設は客単価が上昇傾向にある。
		卸売業〔機械器具〕（営業担当）	取引先の様子	・取引先の受入れ態勢の遅れにより納期がずれ込んだ影響で、2～3か月前は落ち込んでいたが、今月はその分、例年同月に比べて売上が多くなっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・週末を中心に商店街のにぎわいが戻りつつある。特に、インバウンドが増加しているため、比例して外国人も多くみられる。
	変わらない	新聞業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・春先の想定を上回って受注が入ることも増えているが、想定自体が低水準であり、前年比での落ち込みは続いている。
		出版業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・雑誌広告の量、売上共に低いままで、雑誌、書籍の販売量も増加傾向にはない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・スポット的な受注が少し増えてきている。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比較し、予算に対しての売上計上率はほぼ同じである。
	やや悪くなっている	卸売業〔機械器具〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏期休暇のために業務活動が停滞気味である。
	悪くなっている	-	-	-

#### 4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔文具〕 (販売担当)	・この先のインバウンド、特に中国人客の増加、回復が見込める。
		百貨店(総務担当)	・依然として為替相場が円安に振れるなか、海外客の好調な売上加え、国内客の堅調な買上動向が全体をけん引している。
		都市型ホテル(経営者)	・円安により、まだまだインバウンドの増加が見込まれる。
		都市型ホテル(営業担当)	・中国の訪日団体旅行が解禁となり、訪日外国人の比率が更に高くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔事務用品〕(営業担当)	・夏の異常な暑さのせいか、現状では人の動きが非常に良くないが、インバウンドも含め、秋に向けて少しずつ動きが出てくる。
		百貨店(広報担当)	・今のところ高付加価値消費に関する明らかになりスクは見当たらない。今後、インバウンド需要も、中国人観光客の動向次第では上振れする余地がある。
		衣料品専門店(店長)	・インバウンドの増加が大きい。
		高級レストラン(副店長)	・暑さが落ち着いてくれば、客の来店も戻ってくる。9~10月の予約が増えてきている。
	変わらない	一般レストラン(経営者)	・9月になれば気候も変わり、人の流れも良くなると思うので、期待している。
		一般小売店〔和菓子〕(経営者)	・法人需要が伸び悩んでいる。
		一般小売店〔食品〕(店長)	・値上げが続くなか、余計な物は買わないのか、自家製品の売上は順調でも、他の売行きが思わしくない。
		コンビニ(店長)	・国内需要、インバウンド共にほぼ回復していることから現在はやや良いが、今後については特筆すべき事柄がないので、現状維持で変わらない。
		乗用車販売店(店長)	・半導体不足が原因で、自動車製造が遅延し、成約しても納期が掛かっている。中古車へシフトするユーザーも多く、新車販売の景気は変わらない。
		高級レストラン(経営者)	・時期的に、気温が下がると文字どおり食欲の秋となる。
		旅行代理店(店長)	・夏休みが終わるからである。
		通信会社(営業担当)	・ユーザーの活動を支えるような良い情報が聞こえてくる状況ではない。
	やや悪くなる	競馬場(職員)	・物価上昇が収まらない限り厳しい。
		百貨店(総務担当)	・世界的なエネルギー価格の高騰を背景とした物価上昇は当分続く。新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限がなくなった影響で一時的に人流が増加しているが、中長期的に景気が良くなるとは考えにくい。
		スーパー(店長)	・商品の値上げが続いている。
一般レストラン(経営者)		・毎年のことだが、夏休みが終わると、観光客、その他の客も来なくなるので、少し悪くなる。	
悪くなる	理容室(経営者)	・この半年で一般消費者はかなり散財しているので、年の後半はお金を使わなくなる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	印刷業・製本業(経営者)	・インバウンド需要による受注増加を増やしたい。
		印刷業・製本業(営業担当)	・新型コロナウイルス感染症の影響による倒産や廃業に伴い、生き残った会社に仕事が集まる。そうした会社は良くなっていく。
		建設業(営業担当)	・仕事量の増加がみられる。
		建設業(経営者)	・各社で設備投資が増えてきている。役所の仕事も増えてきているが、物価が上昇し、予定価格との差が一層大きくなってきている。
		通信業(営業担当)	・取引先の様子から、企業活動が活発になっていると感じている。ただし、良い企業とそうでない企業との2極化が歴然としている。
不動産業(企画担当)	・新築マンションの販売が好調で、一部住戸にはかなりの高倍率が付いた模様である。ターミナル駅界隈の飲食店ではランチタイムに行列ができ、夜の来店客も増えている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		卸売業〔飲食料品（鮮魚）〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症がほぼ終息し、景気は回復傾向にある。特に、外国人観光客が多く、我慢していた分、大勢来日している。
		経営コンサルタント	・インバウンドの増加傾向が続く。特に、中国人の団体旅行解禁により、景気が加速する。ただし、インバウンドが弱い店舗は厳しさが続く懸念がある。
		その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の大流行中に比べて、秋冬納品の注文が増える見込みである。しかし、資材が高騰しており、利益は出しにくくなっている。
	変わらない	新聞業（営業担当）	・企業業績が下り坂を転がっている状況は続き、大きく改善する見通しがない。
		出版業（経営者）	・物価高騰がボディーブローのように効いてきて、買い控えが広まっていく。
		出版業（営業担当）	・良くなる要因が見当たらない。
		建設業（営業担当）	・受注量が伸びていない。
		建設業（経営者）	・食品等の値上げが続いており、消費者の買い控えが目立つ。それらが全体の景気に悪影響を及ぼしている。
		輸送業（従業員）	・得意先からの受注量が大して増えていかない。
		通信業（営業担当）	・自社の値上げがどのように影響するかが不透明なため、分からないという意味での回答である。
		金融業〔証券〕（営業担当）	・前回と同様だが、訪日外国人観光客を中心に、人流を始め、街中の人々の行動様式はほぼ完全に新型コロナウイルス感染症の発生前に戻ったと思われる。直近の中国からの団体旅行解禁などからも、行動の更なる活発化はみられると思うものの、消費財やエネルギー価格の上昇は家計、企業共にマインドを圧迫しており、景況の大きな高まりは期待しにくい。
		卸売業〔繊維・衣服等〕（経営者）	・商売が低調な季節で、取引先の様子があつかめず、良くなることも悪くなることもいえない。
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	・取引先の話では、特に好転するような情報はない。
		卸売業〔機械器具〕（支社長）	・コストが高止まりしており、利益率が上がらない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・夏季の駆け込み業務等も落ち着いてくるため、大きな変動はない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（管理担当）	・受注量が増加するような動向はない。
	やや悪くなる	卸売業〔機械器具〕（営業担当）	・例年10～11月は売上が多くない。現段階での受注残は少なく、余り良い状態ではない。
	悪くなる	-	-

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	15
	商店街・一般小売店	5
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	5
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	1
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	1
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	6
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	1
	通信会社社員	1
	レジャー施設関連	1
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	0
	その他サービス	1
	美容室経営者・従業員	1
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	0
	設計事務所所長・職員	0
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	5
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	5
	新聞業	1
	出版業	2
	印刷業・製本業	2
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	20
	建設業	4
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	1
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0